

先生佐藤先生の フラメンコのリサイタル 6度目のリサイタル

2月9日四谷、16日藤沢

藤沢市片瀬の小学校教諭佐藤夏子さん(56)が、二月九日東京・四谷区民ホール、同日十六日藤沢市民会館でフラメンコのリサイタルを開く。「ダ



佐藤夏子さんの情熱的なステージ

ンサー先生」の単独リサイタルは今度が六回目。教え子を始め多くの応援を得て、熱いステージにしたいと張り切っている。

佐藤さんがフラメンコに出合ったのは、川崎で教員になって間もなくのころ。有名なスペイン舞踊家河上鈴子さんのステージに感動し、門をたたいた。「二つあるからこそ、やることができる」と以来、教員とダンサーの二足のわらじを履き続けてきた。

夫を亡くした翌年の一九八七年、創作フラメンコ「追憶」をメインプログラムに初リサイタルを開いた。その後、スペインの世界的ギタリスト、ディエゴ・アマジャを知り、

共演者に迎えてリサイタルを重ねてきた。

今回は創作舞踊「蜘蛛(くも)の糸」のほか、スペインの詩人ガルシア・ロルカに触発された作品に取り組んだ。東京は午後六時開演、入場料

四千円。藤沢は午後三時で三千円。藤沢のみ小中学生と家族百五十組を無料招待。

問い合わせは渡辺さん(0466・36・1029)または関口さん(0466・36・3432)へ。